

上田仮説サークルニュース		6月例会	2018.06号
編集責任 遠藤 裕		発行2018.7.28	
〒383-0041 中野市岩船426-3 サッカーデーン中野B-G TEL0269-23-2847 携帯090-1406-9115			
メール endo-h@cronos.ocn.ne.jp 勤務先 中野西高校 TEL0269-22-7611			

6月23日(土) 上田市中央公民館 2F第1会議室



午後3:00~9:00

参加者数7名

資料総ページ114 ペ

<参加者> 柳沢克央さん, 増田伸夫さん, 北村知子さん, 田中浩寿, 池田みち子さん, 北村秀夫さん, 遠藤裕

はじめに 6月例会の参加者は7名。

レポートは合計で22本, 総ページは114ページでした。

増田さんからは<今月の本紹介27>で橋爪大三郎×大澤真幸著『不思議なキリスト教』(48ペ)を紹介。キリスト教を理解する必要性を感じ取ることができます。

北村知子さんは20数年ぶりに小学校に転勤になり, 5月の出来事を「小学校日記」として報告してくれました。小学生のリアルな姿がイメージでき, 読んでいてとてもたのしい内容です。また今回は**体験講座<トランジスタで遊ぼう>**をしていただきました。実際に電気工作をしながらで, 大変たのしい体験でした。

柳沢さんから19本レポートの発表で, 67ページ分です。このニュースでは, 1枚の紹介レポートは「いろいろな紹介」として, 新聞記事も一つにまとめさせていただいてあります。毎回発表されている読書メモもそうですが, 柳沢さんの情報収集能力には驚かされます。また, 6月に職場でいかれた科旅行の様子を, 写真をプロジェクターで写し, 紹介していただきました。

終了後は「大戸屋」で夕食会。

1. 発表資料

① サークルニュース 5月例会 遠藤 裕 (11ペ)

1. 発表資料

- ① サークルニュース 4月例会 遠藤 裕 (ペ)
- ② 小学校に来て4月にやったこと・感じたこと 北村智子さん (4ペ)
- ③ <今月の旅行10> 増田伸夫さん(44ペ)

今月の旅行: ベネルクス3国

(ルクセンブルク~ベルギー~オランダ~ドイツ)

- ④ 読書メモ2018年5月号 柳沢克央さん (8ペ)
—本多静六『私の生活流儀』(実業之日本社・2005年)ほか—
- ⑤ 2018年5月13日(日)「偲ぶ会」に寄せて 柳沢克央さん (8ペ)
- ⑥ 紹介 出口治明『図解 最強の働き方』(PHP研究所・2017年)より 柳沢克央さん (4ペ)
- ⑦ 紹介 茂木健一郎『図解 幸福になるすごい脳の使い方』(PHP研究所・2016年)より
柳沢克央さん (2ペ)
- ⑧ 紹介：『朝日中高校生新聞』 柳沢克央さん (1ペ)
高校受験 勉強のやり方 マックス
- ⑨ 中和滴定を詠む 柳沢克央さん (1ペ)
- ⑩ 化学授業プリントの紹介 柳沢克央さん (14ペ)
- ⑩ 「おぎ・もぎ・あべ」鼎談録 柳沢克央さん (4ペ)
- ⑪ 紹介 T君のこと 柳沢克央さん (4ペ)

② <今月の本紹介27> 増田伸夫さん(48ペ)

[要約]：「近代」社会の中核にあるのは実はキリスト教

設問形式による本の紹介。

☆橋爪大三郎×大澤真幸 『不思議なキリスト教』

(講談社現代新書) 定価：本体 840 円 (税別)

(2011年5月20日 第1刷発行 2012年4月19日 第14刷発行)

橋爪大三郎は 1948 年生まれ。東京大学大学院社会学研究科博士課程単位修得退学。東工大名誉教授／社会学者 (ユニテリアン)。著書に『はじめての構造主義』(講談社現代新書), 『世界がわかる宗教社会学入門』(ちくま文庫) など多数。

大澤真幸は 1958 年松本市生まれ。東大大学院社会学研究科博士課程修了。社会学博士。京大教授など歴任。著書に『ナショナリズムの由来』(講談社), 『不可能性の時代』(岩波書店), 『「正義」を考える』(NHK 出版新書) など。

*

前回紹介した橋爪大三郎著『世界は宗教で動いている』(光文社新書)は大変に読みやすく、しかも宗教と社会との関係を鮮明に浮かび上がらせてくれる良書であった。そこで、さらに続けて橋爪の本を読んでみたいと思った。

本書は、同じ社会学者の大澤真幸との対談である。中身は<大澤がキリスト教に関わる「最も素朴で基本的な疑問」をぶつけ、それに橋爪が答えながら解説する>という形になっている。今回も設問形式で本書の紹介を試みたい。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ◇ユダヤ教とキリスト教 ◇イエス・キリストがいるかどうかの違い ◇預言者を挟むユダヤ教、神の子イエスを挟むキリスト教 ◇一神教のGod（神＝ヤハウェ＝アッラー）とは？ ◇ユダヤ教徒はそんなに怖いGodをなぜ信じたのか ◇「契約」≒「安条約」 ◇ユダヤ教の成立（拝一神教→王制・預言者→唯一神教） ◇律法学者だけが残ったいまのユダヤ教 ◇律法の果たす役割（律法を徹底させるねらい）とは？ ◇「祈り（神との対話）」と「アーメン」 ◇なぜ偶像を崇拝してはいけないのか ◇奇跡と科学は矛盾しない（宗教と科学は対立しない）？ ◇4つの福音書（マルコ、マタイ、ルカ、ヨハネ） ◇イエスは神なのか、人なのか（一番重要な問い） ◇キリスト教はなぜ旧約聖書も聖書としているのか ◇《神の子》というアイデア ◇イエスはく神の計画によって生まれた特別な存在> ◇ユダヤ教の終末論とキリスト教の終末論の違い ◇<救われる／救われない>の基準と説明責任 ◇ユダヤ教・キリスト教の「旧い世界」と「新しい世界」 ◇ユダヤ教徒の考える時代区分 ◇キリスト教の考える<神の新しい計画>→契約の更改 ◇贖罪の論理 ◇同害報復説（連帯責任） ◇ユダの裏切り ◇パウロとモーセ | <ul style="list-style-type: none"> ◇パウロの解釈（神の子）と聖霊 ◇公会議の決定 ◇イスラム教のイジュマールとキリスト教の公会議 ◇典礼言語（ギリシア語とラテン語） ◇近代化において、キリスト教が優位となった原因 ◇ギリシア哲学とキリスト教神学の融合 ◇神の法／自然法と理性（神の精神作用のコピー） ◇理性→神学（神の存在証明）→自然科学（宇宙を解明） ◇自由の女神 ◇カルヴァン派と資本主義（マックス・ウェバー） ◇救済予定説と勤勉 ◇キリスト教と自然科学 ◇創造（→自然→人間の主権・利用権）＋理性⇒自然科学 ◇神の絶対化と自然科学／絶対王制／主権国家 ◇真理の基準（テキストにあるのか／自然そのものか） ◇世俗的な価値（主権、国家、人権、自然法）の起源 ◇西欧音楽と西欧絵画 ◇哲学（カント、ヘーゲル、マルクス）とキリスト教 ◇マルクス主義とキリスト教 ◇日本人の考える無神論 ◇全く反対の理由から像をつくらなかった一神教と神道 ◇キリスト教文明のゆくえ ◇立法に対する意識（日本、中国、インド、イスラム） ◇市場経済との関係（問題点） ◇「近代」にも限界や問題 |
|--|---|

*

<一言で言えば>：近代社会の中核にあるのはキリスト教

さて、本書の内容を一言で言えば、「<近代社会＝西洋的な社会>の中核にあるのは、実は西側のキリスト教（カトリック・プロテスタント）。近代化とは、<西洋からキリスト教に由来するさまざまなアイデアや制度やものの考え方が出て来て、それを西洋の外部にいた者たちが受け入れてきた過程>だった」ということになるだろうか。

*

<キリスト教が分かれば「近代」がわかる！>

本書では、社会学者で無神論者の大澤真幸が、同じく社会学者でキリスト教徒（ユニテリアン）の橋爪大三郎にキリスト教に関する挑発的な質問をし、それに専門家の橋爪が答えながら解説をするという形式となっている。

二人に共通する考えは、<近代社会＝西洋的な社会＝その中核にあるのはキリスト教>ということで、民主主義や資本主義、人権や主権国家、さらには自然科学までもがキリスト教に由来するものである（キリスト教が分かれば近代がわかる！）と主張する。私にとっては特に、<自然科学は、イスラム経由のギリシア哲学の「理性」をキリスト教徒が再

解釈することで生まれた（自然科学はキリスト教神学の副産物）>という点が印象に残った。

橋爪は、近代化において特に重要だったのは、キリスト教徒が<自由に法律をつくれた>点にあることを強調し、大澤は、主権や人権、近代的な民主主義などは、一般に宗教色を脱した概念と見なされているが、それらの概念自体が、実はキリスト教という宗教の産物だという<逆説>の面白さを強調した。本書はキリスト教と近代社会のつながりを理解する上で最適な1冊である。ご一読を！（増田）

（なお板垣雄三氏は、<カルヴァン派だけでなく、イスラム・スンニ派にも日常的営為における奮闘を通じて救済の確信を求める考えがあり、法の支配・革命などでも「近代性」の先駆としてのイスラームを見直すべき>と言及）

（この本の内容を一言で言えば、「近代社会の中核にあるのはキリスト教だ」とのこと。世界史を理解するには、キリスト教についての理解が欠かせないようです。世界史を学ぶのに、キリスト教の歴史から入っていくのも一つの方法かもしれません。 エドワリ

③ 小学校日記 小学校は不思議がいっぱい 北村知子さん（6ペ）

新しい職場で3年生以上の理科専科を担当している知子さんの5月の報告。

次に一部分を紹介します。

5月××日

3年生の教室前を通ると、画工の時間に作ったらしい各自の粘土作品が廊下に置いた机の上に展示してあった。

3年2組は、女の子は花びら1枚1枚を薄く作ってたくさんくっつけた豪華な花を作るのがはやったらしい。男の子はへび、ドーナツ、知恵の輪みたいなもの、バラエティに富んでいる。

中で目をひかれたのがらいま君の作品。題名『白あき』。どうやら「白亜紀」らしい。ティラノサウルスのような恐竜とアンモナイト、ヒマワリだかイソギンチャクだかサンゴだか分からないけど花のようなものの3つが粘土板にのっている。そっか〜。もし花だとしたらよく調べているよな〜。被子植物が出てきたのが中生代・白亜紀だから。

「工夫したところ」「白あきかんを出すところ」。

はい？「白あきかん」？白い空き缶のことじゃないし……。しばらく考えて「白亜紀感」を出そうと工夫したのではないかと思いついた。

小学生の書いたものって解説が難しい。自分の名前さえ、ひらがなと漢字がまぜこぜで書いてあるから。「じんぼこ海」「高の心な」・・・読めますか？

5月21日（月）

4年生の理科<もし原>はアルゴン原子、二酸化炭素分子などが出てくるところにさしかかる。

アルゴンに色を塗ってもらっていると、こはるちゃんが不意に顔を上げて言った。「先生、この後ピンクのネオンやオレンジ色のヘリウムが出てきますよね。」

えっ、なぜ知ってる!?

「私、去年の夏休みに前橋のチャレンジキッズに行ったんです。そこで教えてもらいました。使っていたプリントも多分これと同じです。」

ええ～、やったことあったんだ。それにしても、こはるちゃんが最初に書いた空気の絵の想像図は小さなハートがたくさん飛んでいるだけだったから、人間は忘れる動物だったんだねえ～。でもやっているうちに思い出したらしい。

以降のこはるちゃんはすごく意欲的です。

5月25日（金）

授業前に体育集会がある。本日はプール開きの集会。

以前、ユニクロで買った「もし原Tシャツ」を着ていた。酸素分子、窒素分子、二酸化素分子、水分子、アルゴン原子が飛び回っているデザイン。（竹田かずきさんデザイン）。

4年生の目がTシャツに釘付け。、4年生は《もし原》が終わったばかりなので関心度が高い。「原子のTシャツだ～」「アルゴン博士がいる!」

《もし原》が終わってから「げんしまん」を見せたので、アルゴン原子のことは「アルゴン博士」、エチルアルコール分子のことは「エチルアルコール・ロボ」と呼んじやう4年生。

6年生の集団もTシャツに気がついた。今のところ、6年生と4年生にだけ《もし原》の授業をやったので、6年生、4年生は原子に感度が高いのだ。

（小学生のリアルな反応や行動が書かれていて、読んでいてとてもたのしい日記です。小学生は、いろいろなことに素直に反応してくれるようです。高校生はそういうわけにはいかず、うらやましい…気がします。 エドワリ）

④ 読書メモ2018年6月号

柳沢克央さん（12ペ）

水谷武司著『東京は世界最悪の災害危険都市』（東信堂・2018年）ほか―

柳沢さんが読んだ本の紹介。

◇はじめにー「よい本が・たくさんあって・困るほど」

前回までの「読書メモ」と同様、サークルで発表することを目的とすると、読書がはかどるので、今回もこのメモを作成しました。自身のため、記録を残すことが第一目的です。みなさま、よろしく（適当に）おつきあい下さい。今までのものと同様に説明あり、引用あり、要約あり、感想ありで諸々が混交しておりますのでご注意を。（私物）と書き添えてあるもの以外はすべて篠ノ井高校および屋代高校図書室蔵書。

◇5月号で読んだ本

- ◎本多静六著『私の生活流儀<新装版>』（実業之日本社・2005年）（オリジナルは1951年）（私物）
- ◎福原義春著『生きることは学ぶこと』（ひらく・1997年）

◇今回、読んだ本

- ◎青木やよひ著『ベートーヴェンの生涯』（平凡社・2009年初版刊・2018復刊）
- ◎ジュニ・ウイルソン他著・吉田新一郎訳『増補版「考える力」はこうしてつける』（新評論・2004年初版発行・2018年増補版発行）
- ◎幸田露伴著『五重塔』（岩波ワイド文庫・2001年）
- ◎水谷武司著『東京は世界最悪の災害危険都市』（東信堂・2018年）
- ◎向山洋一・前田康裕著『まんがで知る授業の法則』（学芸みらい社・2016年）
- ◎糸井重里・古賀史健著『古賀史健がまとめた糸井重里のこと。』（ほぼ日文庫・2018年6月6日最新刊）

◇次回以降の予告 13冊

◆まとめ・つぶやきなど ほんの一部を紹介

- ・・・、モチベーションを上げるための補習を構想した。
 - ・解説のみの授業は緊張感が高まらず、効果が薄いように感じられる。
 - ・まず、なぜいま勉強が必要かについての講義を行う。
 - ・次いで具体的な勉強法の講義を行う。
 - ・以上の講義の後で、質問者を募ってオープン・カウンセリングを行う。
 - ・勉強法が分かった者は自分で勉強を始めるので、参加者は回を追うごとに減る。減らなければ意味がない。
 - ・最終的な形は「受講者がいなくなること」である。（学校に通う目的は「通う必要がなくなること」＝「卒業」。「チョークアートは消されて完成する」）
 - ・その後は個別質問対応で回す。〔6月14日（木）10：50〕
- 自己評価について。板倉聖宣氏の幸福論「絶対自己的自己賞賛」は「メタ認知」ではないか。絶対自己という者を設定して、その絶対自己を判断の基準として自分を褒めるという生き方は、客観性を実現できる。この生き方が核になって「仮説実験的認識論」が出来上がっていったのではないかと考えてみた。
- 6月18日（月）、19日（火）に屋代高校理科の科旅行へ行ってきた。その模様については別に発表させていただく予定。その際に詠んだ詩をデジタル化しておく。「三猿を見て襟正し／華厳の瀧の飛沫浴び／銅製鍊と絵に学び／絹糸の往時偲ぶ旅」〔6月22日（金）13：00、これから印刷製本。終わったら年休をとり、トレーニングで鈍った体を引き締める予定〕

（柳沢さんの補習についてのつぶやき、なるほどと思います。補習というと、問題の解説となりか

ちです。生徒は黒板を写すことで手一杯。自分で問題を解いてきた生徒は答え合わせになりますが、どのくらいの生徒が問題を解いてくるか。私も夏休みに入り、3年生の進学補習をしています、考えること大です。 エドワ

⑤ いろいろな紹介 柳沢克央さん

○写真でみる生徒の取る進路 (1ペ)

○王水は 1升3円!! 金溶かす!! 写真とのコラボ 柳沢克央さん (1ペ)

○紹介 酒飲みおしょうさん—硝酸編— 矢池也夫他『化学まんが周期表』(絶版) (4ペ)

○ある口頭試問にて 柳沢克央さん (1ペ)

柳沢さんのオリジナル作品の紹介。面接官と受験生の会話が「化学反応」と絡み合っています。

○紹介 ゲンシマン昔話 おおきなメタンかぶ 柳沢克央さん (4ペ)

小笠原智(北海道・札幌市)さん作。

○漢詩の紹介 (1ペ)

卒業式の時に生徒さんに渡す漢詩の紹介。

勸酒 干武陵 井伏鱒二訳

『唐詩選』(明治書院)・井伏鱒二『厄除け詩集』(講談社)による

○10代のころのファインマンのノートから 柳沢克央さん (1ペ)

ファインマン直筆のノートのコピーです。

(いろいろな紹介プリントをひとまとめにさせていただきました。授業やホームルームなどでの話題として最適な資料です。 エドワ)

⑥ 紹介「メタ認知」を意識する！試験に強くなる科学的な方法 柳沢克央さん (4ペ)

本橋義貞氏のコラムの紹介。生徒配付資料。

「メタな自分をつくること」

自分を客観的に俯瞰する → 心に余裕が生まれてくる

「メタ認知」を手に入れるには

「メタ認知」がどういうものなのかを知り、少しずつ自分のものにしていく

ブラウンという認知心理学者によると、メタ認知とは

1. 自分の限界を予測する
2. 自分にとっていま何が問題なのか明確にする

3. 問題の解決法を立てる

4. 自分の思考を点検・モニタリングしてみる

5. 結果と目標を照らし合わせ、方法を実行するか決める

◆紹介者のひとこと…柳沢克央（やなぎさわ・かつひろ）

「メタ認知」は、近年、認知心理学および脳科学の研究から明らかになってきた概念である。だが、わが国にはこの分野での素晴らしい…、いや、とてつもない先駆者がいる。歴史の授業で聴いたことがあるであろう能楽の大成者、世阿弥（1363－1443）である。世阿弥はその著書『花鏡』（1424）の中で、優れた能を舞うためには「離見の見（りけんのけん）」＝「自分を客観的に見おろすもう一人の自分を想像すること」の大切さ、その成果の素晴らしさについて説いている。世阿弥は、なんと今から600年も前に脳科学の最先端に相当する知見を使いこなし、後世に伝えていたのである。考えてみれば、勉強だって、班活動だって、人付き合いだって、電車の中での身のこなし方だって（4月に聴いた英語科・生徒指導係の青木先生の話思い出そう）、記者会見だって、もちろん鳩祭だって、…どんなことでも、意識すればメタ認知を鍛えて活用する重要な機会なのである。この智慧（ちえ）を、人類の叡智（えいち）を活用しないのはもったいない。「世阿弥説く〔離見の見〕は〔メタ認知〕」〔2018年6月13日（水）7：50〕

（柳沢さんの「ひとこと」を読んで、「メタ認知」という言葉より「離見の見」という言葉が非常に分かりやすいと思います。カタカナ用語は分かりにくいと思うのは私だけでしょうか。 エンドゥ）

⑦新聞記事からの紹介

○信濃毎日新聞のデータベース記事からの紹介 （4ペ）

平昌オリンピックで小平奈緒選手が金メダル（500メートル）を獲得したときの記事の紹介。（2月19日、2月20日）

○読売新聞 6月3日の記事 （2ペ）

ミスターGプロ野球の60年 4番松井1000日計画

○紹介 朝日新聞 オピニオン&フォーラム 「オオタニ」的人生哲学 （2ペ）

プロ野球の大谷選手の記事の紹介。

○朝日新聞記事 6月9日の記事 （2ペ）

・公文書を問う ・がん見落とし2人死亡

○朝日新聞記事 6月8日の記事 （1ペ）

・文化・文芸 理解できぬ世界は悪か ・語る 人生の贈りもの 季節工の体験「べったり書く」

○信濃毎日新聞 信毎6月6日の記事 （1ペ）

・教育／NIE 検証高校再編 第1期 成果と課題は上

○朝日新聞記事 5月22日の記事 （1ペ）

・長野の子ども白書アンケート 授業の充実→安心感や「自尊感情」に影響

○朝日新聞記事 5月30日の記事 (1ペ)

・国立大 動き出す法人統合 傘下に複数の大学「アンブレラ方式」

○新聞記事 (2ペ)

毎日新聞 5月21日 是枝監督 カンヌ最高賞 「万引き家族」日本21年ぶり

朝日新聞 5月21日 ひと 「万引き家族」がカンヌ国際映画祭でパルムドールに

信毎 5月21日 時の顔

(それぞれ記事には、柳沢さんのひとことが書かれていて、生徒さんが読んで分かるようにアドバイ
スされています。授業やホームルームで紹介できる記事の紹介です。 エトワ)

⑧ 紹介 『計算力を強くする』ブルーバックス 柳沢克央さん (8ペ)

計算間違いをできるだけ少なくするための処方の紹介。

(計算間違いを減らすには、体の姿勢やノートの書き方にも注意が必要なようです。 エトワ)

⑨ 紹介 田中和彦著『40歳から伸びる習慣』(PHP研究所・2011年) 柳沢克央さん (4ペ)

自分の可能性を広げる方法の紹介。

8 あなたの可能性を広げる24時間ポートフォリオ術

10 1ランク上の立場から物事を見る40代が伸びる

(自らを向上させたと思う人に参考になる資料です。計算間違いを減らすには、体の姿勢やノート
の書き方にも注意が必要なようです。 エトワ)

⑩ 紹介 板倉聖宣の発想から…「親の義務とは」 柳沢克央さん (1ペ)

喜友名一(きゆな はじめ)氏のサイト「たのしい教育研究所」からの紹介。

次の文章は、喜友名氏が手書きで書き溜めていた板倉聖宣さんの言葉だそうです。

自分の子どもがへんな野望を抱いた時には、親は反対するのが義務です。

ある日突然として「○○になりたい」と言った時には反対するのです。

そして後になって子どもが

「あの時に反対したからオレはやめたんだ」

と言ったら、

「バカ言え！反対しても乗り切る事ができるかどうかを試したんだ」

と言えればいいのです。

「言えればいい」のではなくて、本当の事なのです。

いいかげんな心で大きな事をやろうとしたら失敗するに決まっているのです。

だから反対するのです。

世の中の法則というのは、そういうものです。

「反対されてやめるぐらいなら初めからやめなさい」という事です。

(以下略)

◆紹介者のひとこと…なぎさわ・かつひろ

この言葉に「東京下町のオヤジ」の息遣い（息吹き）を感じるのは私（柳沢）だけではない。これはほとんど落語の世界と同じである。また、噺家・立川流家元の立川談志（故人）の言葉と全く区別がつかない。幸か不幸か、教師としても親としてもこのような場面に出くわしたことはまだない。

これと似た話で、国立教育研究所でのエピソードがあった。

板倉氏によれば、「事務員に要望を出した研究所員が事務員さんの説明に従って要望を諦めたり取り下げたりすると、そのことによって軽蔑されるのだ」とのこと。すなわち、「なんとしても研究を進めるためにこの要望を実現することが必要なのだ」という熱意と合目的性が理解できたとき、はじめて事務員が協力してくれる場合があるのだ…とか。…もともと、これを「応用」しすぎてストーカー扱いされても紹介者は責任が持てませんが、似たようなことは、けっこうあるかも知れない。〔2018年5月22日（月）16：28屋代高校3年理数科での仮説実験授業が済んだ直後、初夏の風吹く清々しい（すがすがしい）放課後、化学研究室にて〕

（「親の義務」ってかなり難しそうです。教員の仕事も似たようなものでしょうか？子どもの覚悟を決めた本当の気持ちを読み取る、親や教師の人生観が問われそうです。 エドワ）

2. 体験講座

授業プラン <電子回路入門 トランジスタで遊ぼう> 作：湯沢光男

講師 北村 知子さん

知子さんの指導を受けながら、ハンダを使っての電気工作。トランジスタのはたらきを理解しながらの体験講座でした。電気回路に苦手な人にとって入門となる授業プランで、とてもたのしく参加することができました。できた回路は、静電気チェッカーか光センサーとして利用できます。知子さんには、準備など本当にありがとうございました。時間が許せば高校の授業でも是非やってみたい授業プランです。

あとがき 7月に入り、非常に暑い日が続いていますが、学校関係では夏休みに入り一段落でしょうか。職場にクーラーがない環境では、みなさんご苦勞をされていることと思います。



職場では、夏休みに入り補習や進路指などに追われています。進路では、就職を担当しています。生徒さんは希望する会社を決めるのに悩んでいます。何か適切なアドバイスができればと考える毎日です。（就職希望者は数人なのですが。）（エンドウ）

★ 今後の予定 ★

8月25日(土)

9月22日(土)

10月27日(土)